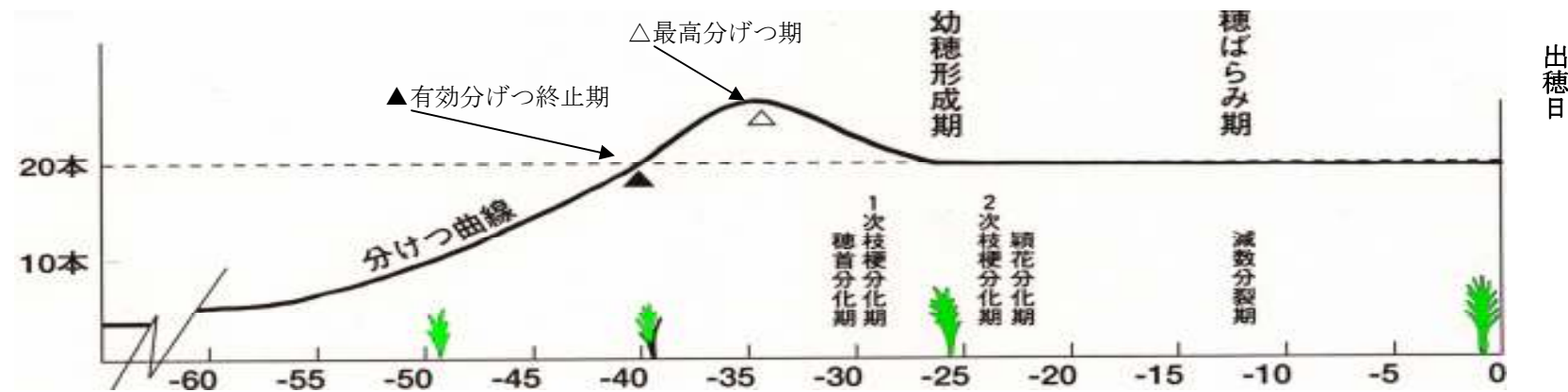


# カルテック農法

## コシヒカリ栽培法

### 微生物・カルシウム利用の美味しい米作り



**コシヒカリ**

\*農林22号×農林1号  
\*福井県農試  
\*1956年育成

**特性**

\*食味良、穂発芽しにくい。  
\*倒伏、イモチ病に弱い。

**栽培上の注意**

\*倒伏、イモチ病の徹底防除  
\*水はけ、日当たりの良い田を選ぶ。  
\*チッソ肥料は少な目にする。

(10アール当り)

生育相	田植え	出穂50日前	出穂35日前	出穂25日前	出穂10日前	出穂	出穂後
生育予定日例	5月1日頃	6月10日頃	6月25日頃	7月5日頃	7月20日頃	7月30日頃	<注意> 予定日は必ず出穂日から逆算して下さい。
作業内容	5月15日頃	6月15日頃	6月30日頃	7月10日頃	7月25日頃	8月5日頃	
	6月1日頃	6月20日頃	7月5日頃	7月15日頃	7月30日頃	8月10日頃	
自圃場	月 日頃	月 日頃	月 日頃	月 日頃	月 日頃	月 日頃	
資材	<b>地力づくり</b> ラクトバチルス 400g 硫安 10kg カルテックCa粒状 2袋	<b>[分けつ肥]</b> 硫安 5~10kg  ●硫安を散布する時は、水を多目に張って散布します。 ●目安としてこの時期に1株が 9本以下の時は 異常です 10~13本の時は 10kg 14本以上の時は 5kg 20本以上の時は 下記の通り ●この頃20本以上か、又は出穂45日前に葉色が濃い場合は、過剰分けつ抑止のため、 <b>ラクトバチルス</b> 200gを土に混ぜて(団子で)畦周りから投入します。	<b>[つなぎ肥]</b>  ●-50日に分けつがとれて硫安が与えられず、この時期に色が褪めてきた場合は、硫安3~5kg与えます。	<b>[穂肥]</b> 尿素 3~4kg  ●葉色により量を加減します。 ●尿素散布の時、 <b>ラクトバチルス</b> 100gを限度に混ぜての散布も効果的 ●尿素を散布する時は多少、水を多目に張って散布する。	<b>[登熟促進資材]</b> カルテックCa粒状 2袋  ● <b>食味向上に重要</b> ●イモチがついたり、倒伏の恐れがある場合は、更に1~2袋増量する。 ● <b>カルテックCa粒状</b> を散布する時は、足跡に水がある程度で散布する。		●開花期は色が褪めていても良い。  ●登熟を揃って促進、特に葉色が濃くイモチの心配がある田では、 <b>カルテックCa液状</b>  ●葉色が薄く、秋落ちの心配がある田では、 <b>メガデルトン・ネオスリー</b> ※どちらも500倍で10アール当り100~150リットルを葉面散布
管理作業	● <b>ラクトバチルス</b> 400gと硫安10kgをよく混合して生ワラ・モミガラ・その他の有機物の上に散布後、一緒に鋤込む。 <u>出来るだけ年内に鋤込む。</u> ( <b>カルテックCa粒状</b> は同時期に鋤込むか、代掻きの水を張る前迄に鋤込む。) ※石灰窒素・ケイカル・ようりん等の副資材は使用しないで下さい。	● <b>地力づくりの資材のみで他の肥料や資材は一切使用しない。</b> ●株間は出来るだけ広く。 ●1株の植え込み本数は出来るだけ少なく。2~3本					
備考	育苗時、 <b>健苗くんセット</b> を使用して根張りと活着を促進させる。	←この間のショボショボで寂しい姿を我慢してください。→ カラースケールで葉色3~4が適度であり5以上はチッソが多目。		カラースケールで葉色3~4が適度 葉色3で尿素4kg 葉色4で尿素3kg			